

歴史的文化遺産の復元について

前号の後援会会報では、教育長に対して歴史的文化遺産の復元について質問をしました根利山集落跡について、少し深堀をさせて頂いたと思います。

沼田市、利根地区に住む人でもその存在を知らない人が多いという幻の集落「根利山集落」と言われる地域がありました。明治終わりから昭和始めの約四十年程度、皇海山の南西麓に実在した集落です。足尾銅山の繁栄を支えていた集落で一時期はそのエリアに三千人も生活していたと言われています。

今では考えられませんが、利根地区追貝の奥、皇海山麓に木材で櫓が組まれ空中ワイヤーが張り巡らされて、木材の運搬をしていたというのです。

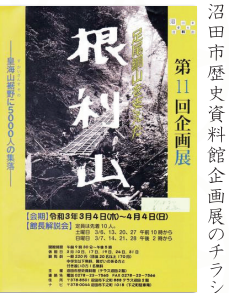
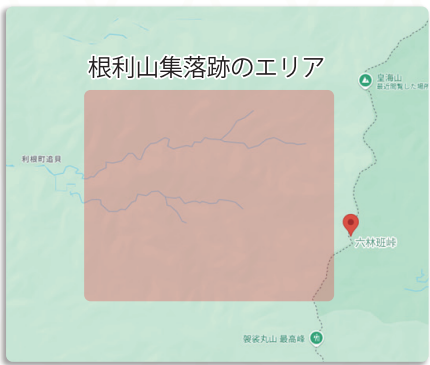
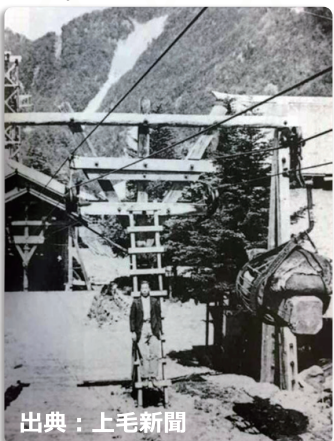
集落があるということは、人の営みがあり、三千人も人が住んでいれば、仕事以外にコミュニティに関わる様々な事柄があったことが容易に想像できます。

教育長の答弁にもあったように、存在の周知を図るために、企画展などを催した経緯があるということでした。もちろん、一市民としては、そのような産業遺産を守るということは必要と考えますが、法令や費用など簡単には行えないこともわかります。

根利山集落は、足尾銅山に関わる産業遺産であることから、私としては、隣接する日光市との連携も視野に当局に働きかけていければと考えております。

先人が残した遺産を守るよう努めて参ります。

討論資料



● よりよい沼田を創るために
昨年度より経済建設常任委員長の任をいただき、職務に励まさせていただいております。

沼田市における経済施策や社会基盤となる都市計画や道路計画等やその管理に関する専門的な審議を纏めさせていただいております。

特に、十二月の定例議会で審議となった「水道料金を改定するための条例の一部改正」については、常任委員会の長として、所属委員の意見の集約はもちろんのこと、持続可能な沼田市の発展などを踏まえ、その責を務めました。

近年のエネルギー高騰問題から食糧の原材料費の高騰など、私達、市民生活に大きく伸び掛かっているのが現状ですが、課題を先延ばしにしたところで計画通りコトが進まないことは明白であり、そのリスクを考えれば、今、判断するのが最良の道であると考えられる訳であります。

所属委員も賛成多数で「可決するべきもの」として本会議にて報告、審議・可決ということとなりました。

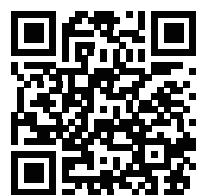
確かに負担は少ないことに越したことはありませんが、地域で生活する者として、また将来を形成していく者として、しっかりとその責務に応じていきたいと思っております。



山宮としお

後援会入会もオンラインで行えます

コロナ禍で開始したオンラインでの後援会入会も引き続き受付しております。お手持ちのスマホで、下記のQRコードを読み取っていただき専用フォームから手続きを行って下さい。最大5人の入会手続きが可能です。



〒378-0121
群馬県沼田市白沢町高平 47
株式会社ミヤマエンジニアリング内
TEL：0278-53-2512
FAX：0278-53-3034
E-mail：info@y-109.jp
URL：https://y-109.jp



後援会
事務所



山宮としおの情報は
公式サイト・SNS から

山宮としお 検索

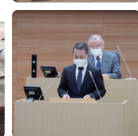


今をそのままに
よりよい明日を

後援会会報
令和7年
1月号

としお

山宮



令和六年沼田市議会定例会報告

令和六年十二月定例議会では、今年度の補正予算が審議され、可決されました。また、その他の議題及び請願なども審議されましたので、内容をご報告致します。

沼田市水道事業給水条例の一部改正

日本全国の自治体で課題となっている上下水道の老朽化問題であります。沼田市も例外ではなく、人口減少からの使用料金の減収、施設の老朽化に伴い、維持・管理費用の増大、もしくは施設自体の更新にかかる新規費用などが必要になることは明確であります。様々な支出を遣り繰りすることは必要ではあります。三十年間見直しが行われていない料金体系と持続的な社会インフラ維持のために今回の条例一部改正（簡易水道エリア外の水道料金の値上げ）を行うこととなりました。

一般階目改定：令和7年度～令和8年度（改定率14%）

用途	メーターの口径	基本料金 (1ヵ月につき)	従量料金 (使用水量1m ³ につき)	
			8m ³ まで	9m ³ 以上
一般用	13ミリメートル	900円	0円	134円
	20ミリメートル	1,420円		
	25ミリメートル	2,040円		
	30ミリメートル	2,660円		
	40ミリメートル	4,010円		
	50ミリメートル	6,070円		
臨時用	75ミリメートル	12,910円		
	—	—	1m ³ につき	134円

二段階目改定：令和9年度～令和11年度（改定率28%）

用途	メーターの口径	基本料金 (1ヵ月につき)	従量料金 (使用水量1m ³ につき)	
			8m ³ まで	9m ³ 以上
一般用	13ミリメートル	1,010円	0円	150円
	20ミリメートル	1,600円		
	25ミリメートル	2,290円		
	30ミリメートル	2,990円		
	40ミリメートル	4,500円		
	50ミリメートル	6,820円		
臨時用	75ミリメートル	14,500円		
	—	—	1m ³ につき	150円

食料自給率向上自治体宣言を 求める請願

政府は、食料自給率の向上のため、自治体が自給率向上目標を持つて農業振興に当たること、公共調達や地場流通を促すとともに、地場産農産物や加工品を住民に提供する仕組みを支援し、食農教育の促進、都市と農村の交流、農のある地域づくりを推進するために「食料自給率向上自治体宣言」を行い、その目標に向けた政策を検討・実施することを求めています。



沼田市としては宣言を行うことで、地元産食材を学校給食等に使用し、消費拡大を推進していくものがあります。

戸神山登山口駐車場設置に関する請願

戸神町から下発知町にまたがる戸神山は、群馬百名山の一座として、年間七千人を超える登山客が訪れる地元でも愛されている山のひとつであります。その戸神山の登山客向けに用意されている駐車上は下発知側の「発知ふれあい広場」となっており、人気がある戸神山正面登山口には専用駐車場が整備されていないのが現状であります。

このため、近隣施設に迷惑がかかっていることもあり、地元有志より駐車場設置に関する請願が行われたものです。

以下の図が、戸神山正面登山口周辺となります。

が、適した土地や環境整備等がスムーズにいくなければと考えています。

沼田市議会 定例会
三月 一般質問

沼田市民が

「こころ豊かに暮らし、
しあわせを実感できるまち
沼田について」◆ 地域コミュニティの
取組みについて

- ・各地区の取り組み状況について
- ・利根町・白沢町、支所廃止に伴うコミュニティセンターへの移行について

◆ 伝統文化の伝承と歴史的文化的
遺産の保存と利活用について

- ・伝統文化の伝承と歴史的文化的遺産の保存と利活用の取組みについて
- ・歴史的文化的遺産の復元について
- ・利根沼田広域圏等、地域間の連携について

◆ 安全安心なまちづくりについて

- ・利根沼田広域圏、県・国との災害時の避難における連携について
- ・過去の災害における対策対応の更新について
- ・災害に強いまちづくりの促進について
- ・児童、生徒への防災・災害教育について

沼田市議会 定例会
九月 一般質問市民が住みやすさを感じる
まちづくりについて◆ 市民生活の現状とみらいへ
繋ぐ活動について

- ・白沢・利根地区コミュニティセンターの現状と今後について
- ・白沢・利根地区の地域要望の現状、対応と対策について
- ・地域づくりにおける地域ごとの活動状況の現状と今後について

◆ 企業誘致と市内企業の現状について

- ・企業誘致における市内企業との業種の関係性について
- ・市内における新規起業者の推移と現状について
- ・企業や小規模事業者の労働力確保について
- ・農業系企業の誘致と新規起業支援について

◆ 安全安心なまちづくりについて

- ・全国各地で頻発する大規模災害発生時の沼田市の対応について
- ・災害時における協定締結先や市内企業との連携について
- ・非常時における電源・飲料水・生活水の確保について
- ・災害時における消防団活動について

TOPICS 令和六年 沼田市議会 定例会報告

令和六年で開催された四回の市議会（三月・六月・九月・十二月）の定例会で審議された議決事項などの内容をいくつかピックアップしてお伝えします。

■ 印鑑条例の一部を改正する条例

皆様が市役所で登録している実印は、印鑑証明書を発行するにあたり登録を証明する手帳が必要ですが、今後は、マイナンバーカードを窓口で提示することで交付可能となり、また、スマートフォン等でコンビニでも交付できるよう条例の一部を改正する議案を原案可決しました。

マイナンバーカードはじめ、デジタルが身近で便利になるよう働き掛けて参ります。

■ 学校給食費無償化のため
財政措置等の支援を求める
意見書案について

沼田市は今年度から学校給食が無償化となり市内の子ども達には、美味しい給食を堪能してもらっていることと思います。

これは群馬県内の各自治体も給食無償化の動きが続いており、歓迎できる流れかと思っています。

しかしながら、給食無償化は財政負担が大きいのがどの自治体も同じであり、沼田市だけの問題ではありません。

様々な事象を踏まえながら、沼田市議会としては、群馬県を通じて、国に対して給食無償化へ費用負担の働きかけと、国が公費負担を実施するまでの間、給食無償化に取り組める制度設計を行うことを求める意見書の原案可決しました。



■ 被保険者証廃止に伴う条例の改正

マイナンバーカードにより国民健康保険証など医療関係における特定の個人を識別する方法が変更されるのに伴い条例の一部が改正されました。

今後、様々なところで、マイナンバーを基軸とした行政サービスが展開されていくと思われます。

■ 利根沼田地域定住自立圏形成協定の
一部変更について

令和二年に、みなかみ町・川場村・昭和村と締結した「利根沼田地域定住自立圏の形成に関する協定」に掲げる生活機能の強化に係る政策分野における福祉の項目について、子育て支援の充実として、圏域内の子育て環境の充実を図るため、沼田市が設置するファミリー・サポート・センターの広域利用を推進するとともに、本市及び連携町村の住民を対象に事業を実施する内容を加えることとなりました。

利根沼田地域は「ひとつ」として表現されることが多くありますが、この形成協定の変更も踏まえ、さらに関係性を強固にしていければと考えます。



■ 利根地区防災行政無線の運用再開

令和四年八月末で運用を停止していた利根地区防災行政無線は、令和六年十月一日付でデジタル防災無線として本格運用が再開されています。

対象となる防災行政無線は「既存屋外支局十八局」と「利根地区コミュニティセンターの屋外新設一局」となります。小松地区はFM ONEのFM波の使用となっています。

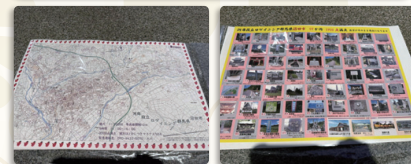
引き続き、地域住民の皆様の声を伺いながら、防災ツールの要として継続的な運用に尽力します。

河岸段丘ロゲイニングは沼田市

河岸段丘ロゲイニングは沼田市に、運営のお手伝いを兼ねて、参加してきました。市外からも多くの方々にご参加いただき、ロゲイニングだからこそ分かる沼田市の魅力を発見し、堪能されていました。

この様なイベントを沼田市で開催していただきました主催者・スタッフの皆様には感謝致します。

また、今後もこのような利根沼田をアピールできるようなイベント等に率先して参加し、展開できるように努めて参りたいと思います。



受付で地図と得点が記載された目印一覧をもらいます

ルートを決めて、高得点目指してスタート



制限時間内にゴールをして得点を競います



ロゲイニングは地図とコンパスを使って、山野に多数設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内にまわり、得られた点数を競う野外スポーツ。

地域巡回く朝活ランニング

趣味のランニングを兼ねて春先から秋口まで、早朝の時間に地域を巡回しております。

作物の生育状況や生活路の状態などを見て回っております。

また、早朝にも関わらず声をかけてくださる住民の皆様から直接、お話を伺うこともございます。見掛けたら、皆様の声を伺えればと思います。

